



藤井脳神経外科病院
 〒329-1105 栃木県宇都宮市中岡本町 461-1
 電話：028-673-6211 (代)
 FAX：028-673-2115
 E-Mail：fujiihp@apricot.ocn.ne.jp
 ホームページ：http://www.fujiihp.or.jp/



藤井脳神経外科病院 地域連携ニュース



2021年4月号

受付時間

○ 診察可 × 休診

診療時間		月	火	水	木	金	土
9:00~12:00 (受付 8:30~11:30)	初診	○	○	○	○	○	○
	再診	○	○	○	○	○	○
14:00~17:30 (受付 13:30~16:30)	初診	○	○	×	○	○	×
	再診	○	○	×	○	○	×
休診		水曜日・土曜日の午後、日曜日、祝日 *急患は24時間対応します。					

外来担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	鈴木 博子	國峯 英男	國峯 英男	鈴木 博子	國峯 英男	南本 新也
	* 淀縄 昌彦	鈴木 康隆	鈴木 康隆	* 大橋 康弘	南本 新也	* 坂本 和也 (第2・4のみ)
	* 坂本 和也	南本 新也	* 浅田 英穂 (第1・2・4・5週)	交代制	* 淀縄 昌彦	* 滑川 道人 (神経内科)
		* 安納 崇之	* 新井 文博 (第3週)		* 自治医大	* 交代制
午後	* 淀縄 昌彦	* 獨協医大	休診	鈴木 博子	* 淀縄 昌彦	休診
	交代制	交代制		* 大橋 康弘	* 自治医大	

上記の担当は、都合により変更となることがあります。

* 非常勤医師

桜花の季節が過ぎても1年前からのCOVID-19の勢いは一向に減る気配がありません。このウイルスによる血液凝固系や血管そのものへの関与も懸念されており、脳卒中を多く扱う本院としては強い関心を持ち、また警戒している日々です。

今回の連携ニュースでは、新任の脳血管内治療専門医・南本医師、そしてやはり新任となった中島看護部長を紹介いたします。

また、お役立ち情報として、高次脳機能障害についてリハビリテーション科からの記事を書きました。解るよう分かりにくい高次脳機能障害は、当事者である患者さんが一番困っているものの医療者や周囲の人たちからも理解されていないことが多いものです。脳疾患の早期発見にも役立ちますのでご一読くだされば幸いです。

理事長 藤井 卓

ご挨拶

今年の春より新たな脳神経外科医として着任いたしました。専門は脳血管障害及び機能的脳神経外科です。これまでは筑波大学・脳卒中科におきまして本格的な外科手術・血管内治療・内科的治療の研鑽を積んで参りました。その経験を活かし、脳血管障害については外科手術・血管内治療・神経内視鏡の3つを使い分け、最も有効性と安全性の優れた治療方法を提案させて頂いております。またすべての脳血管疾患は手術を要するとは限らず、適切な内科的治療も提供することができます。また社会的には2018年に脳卒中・循環器病対策基本法が成立し、シームレスな医療体制の整備も求められており、これまでの経験と技術を以って貢献していきたいと考えておりますので宜しくお願い致します。



医師 南本 新也

今春の早い桜の開花は新型コロナ禍にいる人々に癒しを与えてくれましたが、第4波の兆しもあり注意を払わなければなりません。

この4月、看護部長に就任し改めて藤井脳神経外科病院の専門性の高さや地域からの期待の大きさを感じております。

看護職員は急性期、慢性期、社会復帰を支援する上で、医療チームの一員としての自覚と多職種協働さらに地域との連携を築いていくことが大切であると考えます。また脳神経疾患は生活習慣病から起因することが多いことから健康相談に応える機会をつくり、地域の方々の健康増進に努力したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



看護部長 中島 典子



脳神経外科医療のトピックス (18)



高次脳機能障害について

リハビリテーション室

高次脳機能とは知覚・記憶・学習・思考・判断など、その認知過程と行為の感情(情動)を含めた精神(心理)機能の総称であり、高次脳機能障害とは病気やケガによって起こる脳損傷に起因する認知障害全般を指します。当院でのリハビリテーションが対象となる患者の約6～7割に高次脳機能障害が認められており、今回はその中から臨床場面でよく見られる失語症・失認症・失行症・注意障害についてご紹介します。

● 失語症

- 症 状: 【聞く】【話す】【読む】【書く】の言語機能が失われた状態
- 種 類: 運動性失語、感覚性失語、全失語、健忘失語など
- 具 体 例: 【聞く】言葉が理解できない、部分的にしか理解できていないなど
【話す】言葉が出ない、別の言葉が出てしまう、遠回しな言い方をする、同じ言葉を繰り返すなど
【読む】【書く】文字が読めない、文字を読んで理解できない、文字が書けないなど
- 検 査: 標準失語症検査(絵の中から指定された言葉に合う物を選んだり、絵の名前を正しく言えるかを調べる検査)
- リハビリ・対応: ジェスチャーや絵など非言語コミュニケーションを利用する、短い文や単語でゆっくり話す、聞き手が推測誘導する、文字を併用するなど



● 失認症

- 症 状: 視覚・聴覚・触覚などの感覚は正常であっても、その感覚を介して対象物を認知することが出来ない状態
- 種 類: 半側空間失認、身体失認、病態失認
- 具 体 例: 【食事】お膳の片側にあるおかずのみ食べ残す、片側に食べこぼしたものに気が付かないなど
【歩行】片側の壁や物にぶつかる、ギリギリを通りながら移動するなど
【身支度】歯磨きの際の磨き残しや髭の剃り残しが片側だけあるなど
【会話】麻痺があるにも関わらず、それを否認するなど
- 検 査: BIT 行動性無視検査日本版(写真や文字を見て左右どちらかに見落としが無いかを調べる検査)
- リハビリ・対応: 見落とししてしまう側に注意を向けるように声掛けをする、目印や目立つ色のものを置く、見やすい側や向きやすい側に物を移動させるなど



● 失行症

- 症 状: 運動障害(麻痺、感覚障害、失調、不随意運動など)がなく、理解や意欲があるが指示された運動を誤って行う状態。使い慣れた道具が使えなくなる、使い方がぎこちなくなるなど
- 種 類: 観念失行、観念運動失行、肢節運動失行、口腔顔面失行、着衣失行など

- 具 体 例: 【会話】携帯電話の使用方法が分からなくなるなど
【食事】箸やスプーンの使い方が分からなくなるなど
【着替え】服を正しく着ることが出来ない(服を前後、上下、表裏を間違えて着る、袖が通せない)など
【身支度】歯ブラシや櫛、髭剃りなどの使い方が分からなくなるなど
- 検 査: 標準高次動作性検査(生活で使われる物品が正しく使えるか、指示した動きが出来るかを調べる検査)
- リハビリ・対応: 道具の使用方法や手順について模倣動作や反復動作を通じて再獲得する、行いやすい方法も模索し、使用方法の簡便化を図るなど



● 注意障害

- 症 状: 周囲からの刺激に対して注意散漫になったり、必要なものに意識を向けたり、重要なものに意識を集中させ選択することが出来ない、同時に複数の事柄を理解したり実行することが出来ない
- 種 類: 選択性注意障害、持続性注意障害、転導性注意障害、分配性注意障害など
- 具 体 例: 【食事】集中して食べることが出来ない、途中で食事が止まってしまうなかなか食べ進まないなど
【歩行】障害物にぶつかる、ぶつかりそうになるなど
【整容】歯磨きの磨き残しや髭の剃り残しがまばらにあるなど
- 検 査: 仮名拾いテスト、トレイルメイキングテスト(複数の数字や文章の中から指定された文字・数字を集中し、正しく選択出来るかを調べる検査)
- リハビリ・対応: 刺激を無くす、減らすなどして集中しやすい環境を整える、情報を整理して簡潔に行う
患者さんが興味を示す課題を慌てずじっくり時間をかけて行ってもらうなど



高次脳機能障害は外見から分かりにくいだけでなく、周囲の人から理解を得ることが難しく、誤解されてしまうことが少なくありません。そのためご本人のみならず、ご家族にとっても日常生活や社会生活が送りづらくなってしまふ場合があります。今回ご紹介した症状や具体例などを参考に高次脳機能障害について理解を深めていただけたらと思います。当院では高次脳機能障害の検査を行っていますので、高次脳機能障害の有無や程度の判定が必要な場合がありますらご相談ください。

参考/引用文献: 医療情報科学研究所「病気がみえる vol.7 脳・神経第1版」2013

お知らせ

ゴールデンウィーク
当院の診療日

* 急患は随時受付
いたします。

受付時間	4/28 (水)	4/29 (木)	4/30 (金)	5/1 (土)	5/2 (日)	5/3 (月)	5/4 (火)	5/5 (水)	5/6 (木)
午前 8:30~11:30 (診療は9時~)	診察	休診	診察	診察	休診	休診	休診	休診	診察
午後 13:30~16:30 (診療は14時~)	休診	休診	診察	休診	休診	休診	休診	休診	診察

次回は未破裂椎骨動脈解離について、お伝えいたします。